

2022年6月15日

東京東部サンライズクリニック (<http://www.sunrise-cl.com>) にお邪魔しました。花上和生院長は、麻酔科医として救急医療や集中治療に長く携わって来られた先生です。当院からは、がんの緩和ケアはもちろんのこと、人工呼吸器や各種カテーテルなどの医療機材を必要とする患者さんをたくさんお願いしています。実は私も、ある患者さんを一緒に拝見しています。在宅医療への移行に関する話をする中で、花上先生が何度か仰った、『患者さんの行き場がなくならないように』というフレーズがとても印象的でした。“きぼう”、“きずな”、“きもち”を大切にされている先生と、墨東病院のきずなが更に深まるよう頑張りますので、これからもよろしく願いいたします。(文責：藤ヶ崎浩人)

